

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)銀杏庵六生倶楽部新築工事	階数	地上5F
建設地	福岡県北九州市八幡西区鉄王2丁目	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域	平均居住人員	130 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2013年12月19日
敷地面積	3,238 m <sup>2</sup>	作成者	橋迫弘平
建築面積	1,676 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,366 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ① 参照値: 100%  
 ② 建築物の取組み: 46%  
 ③ 上記+②以外のオンサイト手法: 46%  
 ④ 上記+: 46%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	建物利用者と地域住民への環境に配慮し、中間領域の形成や植栽計画を行った。	
その他	0	
Q1 室内環境	住居部分の個室には障子を掛け、温熱環境、光や視線の制御に配慮した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	各個室をユニット単位とするなど、管理に配慮した工夫をした。	Q3 室外環境 (敷地内)
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地内に中間領域や植栽を多く設け、建物利用者や周辺環境に配慮した。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	ピーク時のエネルギー負荷を管理することにより、省エネルギーへの取り組みを行った。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	汚染物質含有材料の使用回避、非再生資源の使用量削減に取り組んだ。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	日影図を作成し、日照阻害の抑制に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい